

◆「いばらき能」連携事業

能

NOH

体感講座



写真:能「葵上」より

伝統世云能、出合の楽しみ

【体験編】

「挑戦！はじめての能」

「謡」「舞」「能面」「装束」「楽器」・・・能を構成するそれぞれの要素について、実際に体験していただくことにより能への理解を深めていただくプログラムです。

ご家族と一緒に挑戦してください！

◆開講日及び内容

- ①2月7日(日) 「謡と舞って面白い！」
- ②2月11日(木祝) 「能に出てくる楽器をやってみよう！」
- ③2月27日(土) 「能面と装束を見てみよう！」

開講時間:各日とも午後2時～午後3時30分

◆会場

茨木クリエイトセンター2階・多目的ホール
〒567-0888茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726
JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

◆講師

観世流能楽師 林本 大 ①③
能楽師幸流小鼓方 古田知英 ②
能楽師観世流大鼓方 森山泰幸 ②

◆対象・定員

小学生以上、各回10人。1回だけの参加も可。

*① 2月7日は足袋または靴下をご持参ください。

◆受講料

1回500円

◆お申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係

☎072-625-3055(午前9時～午後5時)

*12月11日(金) 午前9時から電話予約開始

*受付初日(12/11)は電話予約のみ。定員に達しない場合は翌日から下記のチケットカウンターでも受け付けます。

- ①市民会館チケットカウンター(午前9時～午後5時※12月27日業務終了)
- ②クリエイトセンターチケットカウンター(午前9時～午後5時※12月28日臨時休館)
- ③福祉文化会館3階チケットカウンター(午前9時～午後5時※1月4日業務開始)

【入門編】

「3・13いばらき能を楽しむために…」

3月13日開催の「いばらき能～葵上」の事前講座ですが、初めての方も楽しみながら学べる入門講座となっています。日本を代表する伝統芸能「能」の世界へ、あなたをやさしく誘います。

◆開講日

2月13日(土) 午後2時～午後4時

◆会場

茨木クリエイトセンター2階・多目的ホール
〒567-0888茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726
JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

◆内容

①能のお話し ②3・13公演演目解説 ③謡の体験 等

◆講師

観世流能楽師 山本章弘

◆定員

100人(就学前のお子様はご遠慮ください)

◆受講料

500円

◆お申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係

☎072-625-3055(午前9時～午後5時)

インターネットチケット www.ibabun.jp

*12月11日(金)午前9時からインターネット・電話予約開始

*発売初日(12/11)はインターネット・電話予約のみ。定員に達しない場合は翌日から下記のチケットカウンターでも受け付けます。

- ①市民会館チケットカウンター(午前9時～午後5時※12月27日業務終了)
- ②クリエイトセンターチケットカウンター(午前9時～午後5時※12月28日臨時休館)
- ③福祉文化会館3階チケットカウンター(午前9時～午後5時※1月4日業務開始)

◆その他プレイガイド(12月11日店頭販売あり午前10時～)

ローソンチケット 0570-000-407・Lコード予約 0570-084-005(Lコード59780)

*ローソン、ミニストップ各店舗で直接購入可

※茨木市市民会館閉館等に伴うご案内⇒市民会館は、閉館に伴い12月27日をもって業務を終了します。閉館後、文化振興財団はクリエイトセンター1階へ事務所を移し、新年1月4日から業務を開始します。文化事業係(チケット専用)の電話番号は変更ありません。クリエイトセンターは、12月28日臨時休館、12月29日から1月3日まで年末年始の休館となり1月4日から業務を開始します。また、福祉文化会館3階に新たにチケットカウンターを設け、1月4日から業務を開始します。

◆主催:公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆制作:公益財団法人山本能楽堂/三栄企画 ◆後援:茨木商工会議所/茨木市観光協会



【入門編講師】 山本章弘(やまもと・あきひろ)

昭和35年11月生まれ。幼少より父、故山本眞義に師事し、昭和58年、故25世宗家観世左近に入門。昭和63年独立。現在26世宗家観世清河寿に師事。3歳にて初舞台。主な披曲は「石橋」「猩々乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」「砧」など。海外公演は、米・ワシントン、インド、オーストラリア、イタリア、フランス等に参加。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財保持者総合指定。日本能楽会々員。関西大学文学部卒業。関西大学及び大阪樟蔭女子大学能楽部講師。観世流発祥の地・奈良県結崎にある川西小学校の総合学習の能楽講師をつとめるほか、「アートによる能案内」「能とあそぼう」など、子ども達へ能楽の普及に努める。公益財団法人山本能楽堂代表理事として、「とくい能」「上方伝統芸能ナイト」などの新事業を立ち上げ、あらゆる世代に向け新たな能の魅力を伝えるべく、積極的に普及活動を行っている。「大阪文化祭奨励賞」「なにわ大賞大阪21世紀協会賞」などを受賞。



●山本能楽堂公式ホームページ <http://www.noh-theater.com/>

茨木市文化振興財団第196回公演

【12月11日予約開始】

いばらき能—「葵上」 AOInoUE

- ◆平成28年3月13日(日)午後2時開演(午後4時30分終演予定) ◆茨木クリエイトセンター・センターホール
- ◆[全席指定]一般3,000円/65歳以上、障害者及びその介助者2,500円/青少年(24歳以下)1,000円
- ◆演目 ◎見どころ解説 ◎仕舞「玉之段」山本章弘 ◎お囃子解説 ◎狂言「棒縛」善竹隆司
◎能「葵上」梓之出 山本章弘

【葵上あらすじ】

光源氏の正妻、左大臣家の息女の葵上は、物の怪にとりつかれ重態でした。回復させようと様々な方法を試みますが、うまくいかず、梓弓(あずさゆみ)の音で霊を呼ぶ「梓の法」の名手、照日(てるひ)の巫女を招き、物の怪の正体を明らかにすることになりました。巫女の法に掛けられて姿を現したのは、源氏の愛人の六条御息所(みやすどころ)の怨霊です。御息所は、気高く教養深い高貴な女性ですが、近頃は源氏の足も遠のき、密かに源氏の姿を見ようと訪れた加茂の祭りでも車争いで正妻の葵上に敗れ、やり場のない辛さが募っていると訴えます。そして、葵上の姿を見ると、嫉妬に駆られ、後妻打ち(うわなりうち)[妻が若い妾(めかけ)を憎んで打つこと]で、葵上の魂を抜き取ろうとします。

家臣たちは、御息所の激しさにおののき、急ぎ偉大な法力を持つ修験者(しゅげんじゃ)横川(よかわ)の小聖(こひじり)を呼びます。小聖が祈祷を始めると、御息所の心に巣くっている嫉妬心が鬼女となって現れました。恨みの塊となった御息所は、葵上のみならず祈祷をしている小聖にも襲いかかります。

激しい戦いの末、御息所の怨霊は折り伏せられ、心安らかに成仏するのです。

【見どころ】

題名は「葵上」ですが、実際には葵上は登場しません。舞台正面手前に1枚の小袖が置かれ、これが無抵抗のまま、物の怪に取りつかれて苦しんでいる葵上を表します。物語の中心は、鬼にならざるを得なかった御息所の恋慕と嫉妬の情です。御息所は元皇太子妃なので、鬼に変貌しても、不気味さの中に品格を表す必要があります。特に、前場の最後、扇を投げ捨て、着ていた上着を引き被って姿を消す場面では、感情の盛り上がりをいかに表現するかと同時に、高貴さを損なわない動きの美しさを要求されます。

この作品には、『源氏物語』らしい雰囲気醸し出すための様々な仕掛けが施されており、前半では、見せ場の謡に、『源氏物語』の巻名が散りばめられています。また御息所が葵上への嫉妬に悩む直接の原因となったのは、賀茂の祭の車争(くるまあらそ)いに破れたことであるという室町時代の解釈を反映して、御息所は前半破れ車に乗って登場するという設定になっています。

◆お申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055

(市民会館1階午前9時～午後5時※12月28日は臨時休館のため休業。また市民会館閉館後はクリエイトセンター1階に事務所を移します。1月4日業務開始)

ホームページ <http://www.ibabun.jp>

◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター)茨木市駅前四丁目 6番 16号/072-624-1726

